

今年も新しい仲間を迎え平成 27 年度がスタートしました。この季節は人事異動があり、一緒に仕事をしてきたメンバーが去り寂しい時期ではありますが、逆に新しいメンバーに入れ替わり病院に活気がでてくる時期でもあります。今年度は転任の職員を含め 66 名の新しいメンバーを迎えました。新しく病院のメンバーになられた方が早く病院に溶け込み活躍されることを期待しています。平成 27 年度から国立病院機構は中期目標管理法人（非公務員型独立行政法人）に移行しますが、処遇など基本的には大きな変化はないようです。ただ、印象的であったのは従来辞令交付のあと新採用の職員による宣誓があるのですが今回からはなくなり、非公務員化されたことを実感しました。高知病院の基本理念は当初から「私達は、医療に携わる人間として、情熱と誇りと博愛の心を持ち、意欲ある医療活動を展開していきます」としてきました。この理念は高知病院の原点となるもので今後も継続し伝えていきたいと思っております。高知病院の目指す医療は開院時からかわるものではありませんが、地域での役割が以前にまして大きくなってきており、地域との関係を密にすることなくして病院の役割を遂行することは不可能です。地域での役割を明確にするため本年度より従来の基本理念を発展させ「私達は心のこもった医療を行い地域に信頼される病院となることを目指します」を新しい病院の基本理念と致しました。基本方針も従来のものに一部追加し①良質で安全な医療を提供します。②地域医療連携を進めていきます。③働きがいのある職場環境を作ります。④教育、研修、研究を推進します。⑤次世代を担う医療人の育成に努めます。⑥政策医療を推進します。⑦高度医療を実践します。⑧経営基盤を確立します。と改定しました。全て非常に重要な項目であり今後基本方針としてあげた項目を着実に実践していかなければなりません。我が国は世界でも類をみない高齢者社会に突入し、今後医療をどのような方向に向かって進めていくか重要な時期に直面しています。病床機能報告制度が開始され地域医療構想（ビジョン）のガイドラインの策定も進められており、このことで病床機能の転換を迫られる可能性もあります。私達が高知病院の地域におけるポジショニングが確立していると自負していても病床機能が厳格に区分されることで現在の位置を維持できなくなる可能性もあります。このことは、基本方針からみれば経営基盤の確立を不可能にすることでもありますし、職員の維持が困難となり働きがいのある職場環境を作れなくなることでもあります。厳しい環境であることを職員すべてが自覚し全力を尽くしていくことが結果的には良質で安全な医療の提供につながっていくと思います。ここ数年、医療制度の変革の大きな波がやってくると思いますが職員全員で力を出し合い障害を乗り越え新しい高知病院が更なる発展を遂げるよう頑張っていきたいと思います。